

平成30年度事業報告書

平成30年度は、中国のスクラップ輸入規制いわゆる中国ショックを受けて、会員企業では、受託態勢の維持と処分先確保にご苦労されるとともに、働き方改革に伴う労働条件の整備に尽力された1年であったと思われる。

協会は、会員企業の円滑な事業推進のための環境を整えることをモットーに、各種研修会・講習会の実施、関係法令等の情報提供、東京都予算・制度改正等に対する知事や政党への要望、建設業界などの各種団体への働きかけなど、組織団体だからこそできる活動・事業を鋭意推進してきた。個別課題としては、中国のスクラップ輸入規制への対応策、異物混入防止策の一つとして発火のおそれのある小型充電式電池の取り扱い方、建設副産物の資源化や省エネルギー対策、人材確保・定着支援などに重点的に取り組んできた。また協会の実質的な活動を支える7つの委員会、3つの部会は、常日頃から、それぞれが設定した課題解決・目的実現に向け活発な活動を行ってきた。

以下、主な活動を報告する。

1. 適正処理推進事業

(1) 調査研究事業

1) 調査研究

廃棄物処理法令その他関係法令の改正の動向に的確に対応するとともに、上記に記載した個別課題の解決や関係機関に必要な提案を行っていくため、アンケート調査や委員会等での検討など調査研究を行い、協会または協会会員としての取組方針の策定や要望等を実施した。

2) 普及啓発

調査研究等により得た結果や情報等については、機関誌「とうきょうさんぱい」やホームページ、各種研修会、相談業務を通して提供した。

(2) 研修事業

1) 一般研修事業

適正処理とリサイクルを広く推し進めていくため、各種研修会、講習会を実施した。

① 建設廃棄物・三者施設見学研修会 見学会：26名 勉強会：34名

〔本協会・建設廃棄物委員会 主催〕

対象者：東京都環境局資源循環推進部

(一社)東京建設業協会 (一社)東京建物解体協会

(一社)東京都産業廃棄物協会 建設廃棄物委員会

期 日 : 平成30年10月10日
見学先施設 : JFE 環境㈱ 鶴見蛍光灯リサイクル工場 (神奈川県横浜市)
メジャーヴィーナス・ジャパン㈱ 東京エコファクトリー
(江東区)
勉強会講師 : 東京都環境局資源循環推進部
" 内容 : 都内における産業廃棄物の不法投棄事例について
" 場所 : (一社)東京建設業協会 会議室 (中央区)

② 第4回医療廃棄物排出事業者向けセミナー 83名

[本協会・医療廃棄物委員会 主催]

対象者 : 医療廃棄物排出事業者
期 日 : 平成30年11月30日
内 容 : 排出事業者責任と廃棄物処理委託契約書に関する留意点
医療廃棄物の取扱と注意点
感染性以外の廃棄物処理について
講 師 : 協会顧問弁護士事務所のパートナー弁護士
(株)日本シルバー
(株)シンシア
場 所 : エッサム神田2号館 (千代田区)

③ 医療廃棄物適正処理研修会 62名

[本協会/東京都環境局/(公社)東京都医師会 主催]

対象者 : 特別管理産業廃棄物管理責任者等
期 日 : 平成31年 2月23日
内 容 : 在宅医療廃棄物を巡る諸課題
水俣条約を踏まえた水銀廃棄物対策について
廃水銀血圧計・廃水銀体温計自主回収への東京都医師会の取組に
ついて
産業廃棄物が適正に処理されるために～排出事業者が果たす責任
とは～
東京都医師会方式による医療廃棄物追跡管理システムの活用に
ついて
感染性廃棄物の取扱と注意点
講 師 : (公社)日本医師会
環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課
(公社)東京都医師会

東京都環境局資源循環推進部産業廃棄物対策課
(公財)東京都環境公社
(一社)東京都産業廃棄物協会 医療廃棄物委員会
場 所 : 東京都庁 都民ホール (新宿区)

④ 産業廃棄物処理実務者研修会 基礎コース

[本協会 / (公社)全国産業資源循環連合会 共催] 166名

期 日 : 第1回 平成30年 9月 3日 61名

対象者 : 排出事業者・処理業者における実務担当者 等

内 容 : 産業廃棄物処理の基礎
産業廃棄物の委託処理と委託契約 / 産業廃棄物管理票 / 帳簿

講 師 : (公財)日本産業廃棄物処理振興センター

場 所 : フォーラムミカサエコ (千代田区)

期 日 : 第2回 平成30年11月 2日 50名

対象者 : 排出事業者・処理業者における実務担当者 等

内 容 : 建設系廃棄物処理委託契約書について
建設系廃棄物マニフェストについて

講 師 : (一社)東京都産業廃棄物協会 相談員

場 所 : フォーラムミカサエコ (千代田区)

期 日 : 第3回 平成31年 2月14日 55名

対象者 : 排出事業者・処理業者における実務担当者 等

内 容 : 産業廃棄物処理の基礎
産業廃棄物の委託処理と委託契約 / 産業廃棄物管理票 / 帳簿

講 師 : (公財)日本産業廃棄物処理振興センター

場 所 : フォーラムミカサエコ (千代田区)

[実施機関 : (公社)全国産業資源循環連合会 実施協力 : 本協会] 150名

対象者 : 排出事業者・処理業者における実務担当者 等

期 日 : 平成31年 2月 5日

内 容 : 産業廃棄物処理の基礎
産業廃棄物の委託処理と委託契約 / 産業廃棄物管理票 / 帳簿

講 師 : (公社)全国産業資源循環連合会

場 所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

2) 講習会事業 (許可申請等に関する講習会)

東京都内で実施される許可申請に関する収集・運搬課程及び特別管理産業廃棄物管理責任者の講習会を、実施機関である(公財)日本産業廃棄物処理振興センターに協力して実施した。

① 新規許可申請講習会 1, 071名

ア 産業廃棄物の収集・運搬課程

| | | | | | |
|----|---|-----|-------|------------|------|
| 期日 | ： | 第1回 | 平成30年 | 5月17日～18日 | 157名 |
| | | 第2回 | 30年 | 6月7日～8日 | 158名 |
| | | 第3回 | 30年 | 9月6日～7日 | 159名 |
| | | 第4回 | 30年 | 11月21日～22日 | 160名 |
| | | 第5回 | 31年 | 1月10日～11日 | 170名 |
| | | 第6回 | 31年 | 3月14日～15日 | 153名 |

場所：ベルサール西新宿（新宿区）

イ 特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

| | | | | |
|----|---|---------------|-------|------|
| 期日 | ： | 平成30年10月 | 3日～5日 | 114名 |
| 場所 | ： | ベルサール西新宿（新宿区） | | |

② 更新許可申請講習会 1, 488名

ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

| | | | | | |
|----|---|-----|-------|--------|------|
| 期日 | ： | 第1回 | 平成30年 | 5月11日 | 163名 |
| | | 第2回 | 30年 | 6月15日 | 169名 |
| | | 第3回 | 30年 | 7月6日 | 170名 |
| | | 第4回 | 30年 | 9月21日 | 168名 |
| | | 第5回 | 30年 | 10月23日 | 167名 |
| | | 第6回 | 30年 | 11月9日 | 170名 |
| | | 第7回 | 30年 | 12月20日 | 141名 |
| | | 第8回 | 31年 | 1月18日 | 171名 |
| | | 第9回 | 31年 | 3月8日 | 169名 |

場所：ベルサール西新宿（新宿区）

③ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会 2, 623名

| | | | | | |
|----|---|-----|-------|-------|------|
| 期日 | ： | 第1回 | 平成30年 | 5月10日 | 168名 |
| | | 第2回 | 30年 | 5月16日 | 165名 |
| | | 第3回 | 30年 | 6月6日 | 166名 |
| | | 第4回 | 30年 | 6月14日 | 173名 |
| | | 第5回 | 30年 | 7月12日 | 155名 |
| | | 第6回 | 30年 | 7月13日 | 164名 |
| | | 第7回 | 30年 | 9月5日 | 160名 |
| | | 第8回 | 30年 | 9月20日 | 156名 |

| | | |
|------|-----------|------|
| 第9回 | 30年10月12日 | 155名 |
| 第10回 | 30年11月8日 | 169名 |
| 第11回 | 30年12月4日 | 164名 |
| 第12回 | 30年12月5日 | 164名 |
| 第13回 | 31年1月17日 | 161名 |
| 第14回 | 31年2月7日 | 161名 |
| 第15回 | 31年2月8日 | 173名 |
| 第16回 | 31年3月7日 | 169名 |

場所：ベルサール西新宿（新宿区）

④ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会（医療関係機関等対象） 167名

期日：平成30年9月27日

場所：日本医師会館（文京区）

⑤ PCB廃棄物の収集運搬作業従事者講習会 288名

期日：第1回 平成30年7月31日 144名

第2回 平成31年3月18日 144名

場所：ベルサール西新宿（新宿区）

(3) 相談指導事業

平成14年度から専任相談員を配置して相談指導事業を行っている。30年度の相談件数は、2,574件であった。

平成30年度の相談実績

| I 照会・相談・質問 区分内訳 | | | (2,574件の内訳) | | II 照会・相談・質問 者内訳 | | III 照会・相談・質問 内容内訳 | | | |
|--------------------|---------|-------|-------------|-------|--------------------|-------|----------------------|-------------------|-----|--|
| 電話 | 処理先照会 | 1,369 | 排出事業者等 | 1,691 | 会員紹介 | 1,528 | | | | |
| | 相談事項 | 371 | | | 法令 | 415 | | | | |
| | 質問事項 | 785 | | | 処理方法 | 169 | | | | |
| 面接 WEB等 | 処理先照会 | 49 | | | 処理業者 | 316 | | 契約書・管理票 | 279 | |
| | 相談・質問事項 | | | | 建設業関係 | 230 | | リサイクル関連 | 23 | |
| 計 | | 2,574 | | | 行政機関 | 84 | | 建設廃棄物 | 8 | |
| | | | | | コンサル | 42 | | 許可関係 (講習会関係以外) | 131 | |
| | | | | | 医療機関 | 80 | | その他 | 21 | |
| | | | | | 一般都民 | 131 | | | | |
| | | | | | | | | | | |

2. 環境対策事業

(1) 環境活動

会員各位の協力を得て「ベルマーク回収による災害被災校への支援活動」を女性部が中心となり行った。

(2) 環境対策事業

該当事業なし。

(3) 災害廃棄物対策事業

東京23区から締結の提案があった、災害時における災害廃棄物等に関する協力協定（案）について、締結する方向で検討中である。

3. 普及事業

(1) 普及事業

1) 普及・広報活動

協会の社会的意義や取組状況などを、機関誌「とうきょうさんばい」をはじめ、ホームページ等で紹介し、広報に努めた。

また、安全衛生に関するポスターを全会員に2回配布し、普及啓発に努めた。

2) 図書等の有償頒布

有償頒布図書

| | |
|---------------------|---------|
| マニフェストシステムがよくわかる本 | 1, 157部 |
| 建設廃棄物処理委託契約書 | 1, 413部 |
| 建設廃棄物処理委託契約書様式及び記入例 | 246部 |

車両表示板作製あっせん受注実績

| | *会社数 | 受注枚数 |
|------------|------|------|
| マグネット(着脱)式 | 10社 | 16組 |
| シート(固定)式 | 8社 | 14組 |
| 合計 | 18社 | 30組 |

*会社数は、複数の形式を受注したものを整理した純数

3) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）普及事業

廃棄物処理法で義務づけられている、産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、(公社)全国産業資源循環連合会及び建設六団体副産物対策協議会から受託し販売した。

また、電子マニフェストシステムについては、「電子マニフェストに係る説明会」を実施するとともに、電子マニフェストの運用を円滑に行うための「電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）」〔(公社)全国産業資源循環連合会発行〕の販売を行った。

産業廃棄物管理票普及実績

| 種 類 | | 単 票 | 連続票 | 計 |
|--------|-----|-------------|-------------|---------------|
| 産業廃棄物 | 直行用 | 186,200 セット | 138,000 セット | 324,200 セット |
| | 積替用 | 29,900 セット | 66,000 セット | 95,900 セット |
| 建設系廃棄物 | | 380,800 セット | 277,000 セット | 657,800 セット |
| 合 計 | | | | 1,077,900 セット |

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状頒布実績

| | |
|--------------------------|------------|
| 電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票） | 10,400 セット |
|--------------------------|------------|

電子マニフェストに係る説明会

271名

〔(公社)全国産業資源循環連合会業務委託「電子マニフェスト運用支援業務」〕

対象者： 排出事業者及び収集運搬業者、処分業者においてマニフェスト業務に携わる実務担当者、電子マニフェストの導入を検討されている企業等

講師： (公財)日本産業廃棄物処理振興センター

| 開催日時 | 内 容 | 場 所 | 参加者 |
|-------------|-----------------|----------------------|------------------------|
| 平成30年9月13日 | 10:00 ～12:00 | 電子マニフェスト 操作体験セミナー | ラーニングスクエア 新橋（港区） |
| | 14:00 ～16:00 | | 21名 |
| 平成30年9月27日 | 14:00 ～16:00 | 電子マニフェスト 導入実務研修会 | エッサム神田ホール 2号館（千代田区） |
| 平成30年10月26日 | 14:00 ～16:00 | 電子マニフェスト 操作体験セミナー | ラーニングスクエア 新橋（港区） |
| 平成30年11月29日 | 14:00 ～16:00 | 電子マニフェスト 操作体験セミナー | ラーニングスクエア 新橋（港区） |
| 平成30年12月18日 | 14:00 ～16:00 | 電子マニフェスト 操作体験セミナー | ラーニングスクエア 新橋（港区） |
| 平成31年2月22日 | 14:00 ～16:00 | 電子マニフェスト 導入実務研修会 | エッサム神田ホール 2号館（千代田区） |

(2) 機関誌の発行事業

会員に対する基本的な情報伝達手段である、機関誌「とうきょうさんぱい」は第332号から第343号まで計12号を発行した。

内容は、協会、(公社)全国産業資源循環連合会、環境省、東京都の動向等を中心に確実性と速報性に富んだものとして誌面の充実を図った。

<主な記事>

- ① [団体課題別人材力支援事業]
昨年につき「環境ビジネス☆就職フェア」を開催
- ② 平成30年度 労働災害防止計画について
- ③ [第6回定時総会]
平成29年度事業報告、決算・役員選任・名称変更を承認
平成30年度表彰式 5部門で5社と20名が受賞
- ④ [平成30年度国内処理施設見学研修会]
鹿児島県工業技術センターを見学
- ⑤ 平成30年度第1回新入会員と協会役員との懇談会
- ⑥ 中国輸入規制の影響 ～アンケート結果(第1報)～
- ⑦ 平成31年度東京都予算等で要望活動 高橋会長ら役員が都議会4党へ
- ⑧ 建設廃棄物委員会 三団体合同施設見学会
- ⑨ 東京都予算に対する小池知事ヒアリング
- ⑩ [中国の輸入規制問題]
超党派「資源リサイクル推進議員連盟」ヒアリング
- ⑪ 新春講演会・賀詞交歓会を椿山荘で開催
講演『組織はリーダーによって変わる』
- ⑫ 平成31年度 事業計画および予算決まる

(3) 会員事業

1) 会員研修事業

会員企業における、経営基盤の安定、法令の習熟、廃棄物処理知識の充実、資質の向上を図るため、経営者レベル、実務者レベルなど各職層に合わせた研修会、講習会を実施した。

① 安全衛生研修会 181名

[安全衛生推進委員会 主催]

ア 第1回安全衛生研修会

期 日 : 平成30年 6月 6日 82名

内 容 : 熱中症予防

「熱中症の症状と対処法」 環境省・熱中症予防情報サイトより

「熱中症予防のための保安用品の説明・利用の促進」

講師：(公社)日本保安用品協会及び同協会会員企業

場所：エッサム神田ホール2号館(千代田区)

イ 第2回安全衛生研修会

期日：平成30年10月25日 60名

内容：【第1部】我が社の安全衛生推進の取組

講師：高俊興業(株) 成友興業(株) (株)市川環境エンジニアリング

内容：【第2部】働き方改革と長時間労働リスク

講師：三井住友海上火災保険(株)

場所：エッサム神田ホール2号館(千代田区)

ウ 第3回安全衛生研修会

期日：平成31年2月25日 39名

内容：産業廃棄物処理業における労働災害防止対策について

講師：東京労働局

場所：エッサム本社ビル(千代田区)

② 国内処理施設見学研修会

30名

期日：平成30年6月22日～23日

見学先：鹿児島県工業技術センター(鹿児島県霧島市)

2) 会員交流・増強事業

① 会員の連携強化と協会の活性化を図るため、総会後の懇親会、賀詞交歓会等の交流事業を行った。また、部門別においても、多摩支部、青年部、女性部の諸活動を積極的に行った。

② 会員数の維持・増加を図るため、許可申請に関する講習会等において、協会案内を配布し入会を呼びかけるなど、あらゆる機会を活用して会員数の拡大に努めた。

また、新入会員から協会への要望等を聞くため、意見交換会を2回開催した。

会 員 数 の 推 移

| | 正 会 員 | 賛助会員 | 計 |
|------------|-------|------|-----|
| 平成29年度末会員数 | 550 | 71 | 621 |
| 平成30年度入会者数 | 12 | 8 | 20 |
| 〃 退会者数 | 6 | 0 | 6 |
| 平成30年度末会員数 | 556 | 79 | 635 |

③ 関係団体との協力では、(公社)全国産業資源循環連合会、関東地域協議会の諸活動に参画し、積極的に情報交換等を行った。また、排出事業者等の諸団体と適

正処理の推進と業界発展に向け、協力・交流を継続した。

3) 顕彰・表彰事業

30年度は、『優良事業所表彰』5社、『功労者表彰』1名、『優良従事者表彰』14名、安全衛生表彰『会長賞表彰』1名、『安全衛生推進委員会委員長賞表彰』1名を表彰した。また『感謝状』を3名に贈呈した。

4) 人材の確保に向けた採用支援

① 平成30年度東京都「団体別採用カスパイラルアップ事業」

(東京しごと財団受託事業)

[企画・提案は協会]

30年度～31年度に(公財)東京しごと財団から受託した「団体別採用カスパイラルアップ事業」において『働き方改革』や『女性の活躍推進』の視点に立ち、生産性の向上や働きやすい職場環境等の整備をすることにより、人材確保の取組を支援し、採用力向上等を図ることを目的に、一次支援(7月～11月)として、支援企業25社を募集・選定し、事業計画書を策定した。二次支援(1月～31年度)では、事業計画書に基づきセミナー開催の取組から開始し、31年度に事業を継続する。

<一次支援>

ア 「働き方改革・女性の活躍推進」に関する実態調査・分析

内 容 : アンケート調査集計 116社
訪問ヒアリング調査 30社

イ 支援先企業の選定・個別事業計画書の作成

内 容 : 支援先企業の応募 25社
選定結果 25社

ウ 全体事業計画書の策定

<二次支援>

人材採用・定着に向けた「働き方改革・女性の活躍推進」セミナー

期 日 : 第1回 平成31年 3月 6日 11社11名
第2回 平成31年 3月18日 11社12名

内 容 : 経営者層向け
『経営戦略としての働き方改革・女性活躍推進セミナー』

講 師 : 特定社会保険労務士

場 所 : TKP 新宿カンファレンスセンター (新宿区)

② 人材確保PT勉強会

(公財)東京しごと財団の受託事業(28・29年度)で成果を得た取組や支援活動のノウハウを活かし、業界のイメージアップや将来にわたって人材確保でき

る魅力ある業界としての基礎を築くことを目的に人材確保 PT 勉強会を7月に立上げ、人材採用と定着率の向上を目指すため、30年度は勉強会を8回開催し、業界研究イベントを1回開催した。

資源循環業界研究イベント『環境ビジネス☆業界研究フェア』の実施

期 日 : 平成31年 2月18日
内 容 : 来春の新卒者の採用を目的とした会員企業(20社) 合同による業界研究フェア
・プレゼンテーション「環境ビジネスを知る」
・パネルディスカッション「環境ビジネスで働く」
来場者 : 124名
場 所 : 新青山ビル西館(渋谷区)

4. 管 理 運 営

(1) 総 会 (1回)

第6回定時総会 期 日 : 平成30年 5月24日
場 所 : ホテル椿山荘東京(文京区)
議 案 : ①平成29年度事業報告の件
②平成29年度決算報告承認の件
③理事・監事選任の件
④定款の一部変更承認の件
⑤定款の一部変更に伴う規程等の一部変更承認の件
出席者 : 487名(委任状を含む)

(2) 理事会 (定例会9回 / 臨時会1回)

第43回理事会 期 日 : 平成30年 4月11日
第44回理事会 期 日 : 平成30年 5月 9日
臨時理事会 期 日 : 平成30年 5月24日
第45回理事会 期 日 : 平成30年 6月13日
第46回理事会 期 日 : 平成30年 7月11日
第47回理事会 期 日 : 平成30年 9月12日
第48回理事会 期 日 : 平成30年11月14日
第49回理事会 期 日 : 平成30年12月12日
第50回理事会 期 日 : 平成31年 1月 9日
第51回理事会 期 日 : 平成31年 3月13日

(3) 常任理事会 (14回)

| | | | | | |
|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| 平成30年 | 4月11日 | 平成30年 | 4月24日 | 平成30年 | 5月9日 |
| 平成30年 | 6月13日 | 平成30年 | 7月11日 | 平成30年 | 7月24日 |
| 平成30年 | 9月12日 | 平成30年 | 10月23日 | 平成30年 | 11月14日 |
| 平成30年 | 11月27日 | 平成30年 | 12月12日 | 平成31年 | 1月9日 |
| 平成31年 | 3月13日 | 平成31年 | 3月26日 | | |

5. 委員会・部会活動

(1) 総務委員会

事業計画や執行に関する基本的事項や横断的事項、協会の財政基盤強化策などについて協議し、調整を行った。

分科会である**法制度検討委員会**は、平成29年3月21日付け環境省産業廃棄物課長通知「廃棄物処理に関する排出事業者責任の徹底について」の「2 規制権限の及ばない第三者について」を踏まえて「あっせん、仲介、代理等の第三者の扱い 取りまとめ」について検討を重ね、平成31年3月13日の理事会決定を受けて、協会ホームページにアップした。

(2) 広報委員会

協会諸活動及び法制度に関する情報を機関誌『とうきょうさんぱい』と協会ホームページを通じて「正確・迅速」に協会会員へ伝えた。

機関誌の企画・編集における取組については以下のとおりである。

- ・東京2020大会のムードアップのため、表紙にオリンピック・パラリンピック関連の写真を掲載した。
- ・協会会員各位の業務改善を目指した協会の施策及び対外活動を順次掲載した。
- ・新規に入会した賛助会員のPR広告を掲載した。

(3) 中間処理委員会

① 平成30年度は、これまでも取り上げてきた異物混入問題の中で、特に大きな問題となり、火災事故にも直結しているリチウムイオン電池等小型充電式電池対策について活動を行った。

- ア. 協会会員にリチウムイオン電池等に関するアンケートを行い、多発している事故状況と各社の対策を集計した。
- イ. (一社)JBRCとの意見交換会を行い、対象機器の確認、リサイクル方法などを話し合った。
- ウ. 排出事業者に注意喚起を図るため、取扱注意点を取りまとめ、小型充電式

電池が内蔵されている具体的な機器の絵を載せたチラシを作成し、協会ホームページからダウンロードして配れるようにした。協会名で経済産業大臣に小型充電式電池使用製品での表示方法などに関する要望書を提出した。

- ② 中国の廃プラスチック輸入規制の影響に対し、会員企業にアンケートを行い集計した。協会として処分先確保を次年度予算に対する都知事ヒアリングや政党要望時に要請し、環境省への要望も行った。この廃プラスチック問題に対しては、次年度以降も中間処理委員会の活動テーマとして取り上げていく。
- ③ クールネット東京から提案があった業種別省エネルギー対策テキストの作成について、会員企業へのアンケートや省エネ診断と、産業廃棄物中間処理業者編テキストの作成に協力し、それを元に2月に2回、省エネ研修会を開催した。
(参加者：22名)

(4) 安全衛生推進委員会

4回の委員会と3回の研修会等を以下のとおり実施した。

① 研修会

第1回研修会 6月6日 参加者：82名

- ・環境省の「熱中症予防情報サイト」の動画で、熱中症の正しい知識と予防策、対処法を学んだ。
- ・(公社)日本保安用品協会及び同協会会員企業の講師3名から、熱中症対策のポイントである「測る」「冷やす」「摂る」の知識と、保安用品の紹介がされた。

第2回研修会 10月25日 参加者：60名

- ・当協会安全衛生表彰被表彰者のうち、高俊興業(株)、成友興業(株)、(株)市川環境エンジニアリングの安全衛生管理担当者から「わが社における安全衛生推進の取組」について講演していただいた。
- ・三井住友海上火災保険(株)より講師を招き、「働き方改革と長時間労働リスク」と題する講演を行った。

第3回研修会 2月25日 参加者：39名

- ・東京労働局の安全専門官を講師とした研修会「産業廃棄物処理業における労働災害防止対策」では、経営トップによる安全衛生方針の表明、ヒヤリハットの収集・分析、リスクアセスメント、産業廃棄物処理業界での災害事例と予防策などについて研修を実施した。

- ② 安全衛生推進ポスターを安全週間と年初に会員各社に配布した。
- ③ 当協会の平成30年度労働災害防止計画については、残念ながら都内の産業廃棄物処理業の死傷者が増加しており、また、会員各社からの取組状況報告では、活動目標を達成できていない。状況が改善できるよう、平成31年度労働災害防止計画(案)を策定した。

- ④ 産業廃棄物処理業界全体の労働災害を防止するため、非会員の収集運搬業（積替え・保管を含む）者343社に厚生労働省の要請文等を送付した。
- ⑤ 委員会活動を通じ、会員各社の安全衛生活動の啓発に努めた。
- ⑥ 総会では、安全衛生活動に顕著な実績を示した2名の表彰を行った。

(5) 医療廃棄物委員会

① 9月14日 医療廃棄物合同懇談会

(公社)神奈川県産業資源循環協会、(公社)静岡県産業廃棄物協会、(一社)東京都産業廃棄物協会の医療廃棄物の部会・委員会が合同で懇談会を行った。「昨今の廃棄物行政の動きと医療関係廃棄物の最近の動き」と題して、環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課よりご講演いただいた。循環産業の海外展開、感染症対策、海洋ごみに関する国際動向などグローバルな動きがよく理解できた。

② 11月30日 医療廃棄物排出事業者向けセミナー

- ・「排出事業者責任と廃棄物処理委託契約書に関する留意点」

講師：協会顧問弁護士事務所のパートナー弁護士

契約書に関しての排出事業者責任について解説があった。

- ・「医療廃棄物の取扱と注意点」

講師：(株)日本シルバー（医療廃棄物委員会委員）

過去の事件事例等をパワーポイントで詳しく説明し、医療機関での廃棄時の注意点を話された。

- ・「感染性以外の廃棄物処理について」

講師：(株)シンシア（医療廃棄物委員会委員）

自社工場の事件事例について話し、焼却施設での受入基準や禁忌品について説明された。

③ 2月15日 施設見学会

見学先：(株)五十嵐商会 資源リサイクルセンター

(株)五十嵐商会の北区にある給食の生ごみを中心に堆肥化している工場を見学し、製造工程を学び、工場環境対策について説明を受けた。

(6) 収集運搬委員会

- ① 委員会を4月26日、9月5日、2月12日の計3回開催した。

- ② 6月～7月に、協会正会員に対して「廃棄物収集運搬車両メーカーに関するアンケート調査」を行ったうえで、9月5日の委員会では、賛助会員である収集運搬車両架装メーカーの新明和工業(株)・極東開発工業(株)2社と意見交換を行った。

③ 研修会・見学会

5月29日、極東開発工業(株)横浜工場にて見学・安全講習会を行い、脱着コンテナ車の実演により、コンテナ斜め吊りやガイドローラーの脱輪の危険性を体感、塵芥車の実演にて構造や機能を確認、正しい使い方や点検の方法を学んだ。(参加者：96名)

11月29日、クロネコヤマト羽田クロノゲートにて、最新物流マテリアルハンドリング(マテハン)システムを導入した施設にて、発着同時に行われる仕分けと省力化を可能とした仕組みを見学した。(参加者：36名)

12月14日、日野自動車(株)羽村工場内お客様テクニカルセンターにて、体験型の温暖化防止エコドライブ研修会を開催した。協会会員企業の運行管理者や社内で省燃費運転を促進する立場の方に参加いただき、座学に加えて教官を隣に乗車させた走行体験を実施し、地球にやさしい運転技術を学んだ。
(体験参加者17名ほか計31名)

(7) 建設廃棄物委員会

① 建設廃棄物委員会

建設廃棄物に係る課題解決に向けて次のとおり取組を行った。

建設廃棄物委員会を開催し、適正処理の推進に関わる今後の課題等について意見交換や討議、活動を行った。

委員会は、6月26日、8月28日、11月26日、12月27日、1月18日、2月14日の計6回開催した。

・10月10日 施設見学会

施設見学先 JFE環境(株)鶴見蛍光灯リサイクル工場(神奈川県横浜市鶴見区)
メジャーヴィーナス・ジャパン(株)東京エコファクトリー
(江東区新木場)

参加団体 (一社)東京都産業廃棄物協会 (一社)東京建設業協会
(一社)東京建物解体協会 計34名参加

・11月から2月の委員会3回で

働き方改革に伴うマニフェスト事務作業の軽減策について、課題や対策、排出事業者への要望事項や国への要望事項に関する意見交換を行った。

② 建設混合廃棄物分科会

一都三県建設混合廃棄物意見交換会では、処理業者の営業・工場担当者向けのセミナー(7月23日)や経営責任者・営業責任者向けのセミナー(10月15日)を通して、処理困難物・危険物の取扱に関して排出事業者への働きかけを行うための、建設混合廃棄物の適正処理及び適正な処理コスト等の理解と協力について、情報交換を行った。

また、働き方改革に対応した労働環境の整備について、経営責任者向け「廃棄物処理業・現業系（工場・収運）社員の採用・定着化に向けた戦力セミナー」（3月27日）を開催した。

③ 再生骨材等勉強会

「再生骨材等勉強会」を設立し、10月4日、12月10日、2月14日の計3回開催し、再生骨材等の利用促進策について意見交換を行った。

(8) 多摩支部

① 多摩支部会・研修会

6月の支部会では、施設見学会の見学先及び日程等を確認した。また多摩支部法制度検討委員会・コミュニケーション委員会・教育研修委員会より活動報告を行った。

研修会では、東京都多摩環境事務所廃棄物対策課・八王子市廃棄物対策課より多摩地区における「行政情報」についてご講演いただいた。

② 施設見学会

9月にコミュニケーション委員会主催の施設見学会を開催し、(株)京葉興業 福島支店の焼却処理プラントを見学した。エコアクション21の認証を取得しているプラントで、ダイオキシン類対策をはじめとする環境負荷の低減に努めている施設を見学し、大変勉強になった。

見学会終了後、福島温泉にて懇親会を行い、支部員同士のコミュニケーションも図ることができ、福島を満喫した見学会となった。

③ 多摩支部幹事会及び適正処理意見交換会

3月の多摩支部幹事会では、平成31年度事業計画を検討、支部会等の日程を決定した。

多摩支部法制度検討委員会主催により、東京都多摩環境事務所廃棄物対策課と八王子市廃棄物対策課の出席のもと、多摩支部幹事との適正処理意見交換会が開催された。多摩地域の諸問題について活発な意見交換が行われた。

(9) 青年部

平成30年度は青年部役員の改選に伴い、全青年部員を各委員会に割り振り、内部活性化を重視した。

委員会主導の事業運営を行った。

① 総務・広報委員会

各事業の受付業務及び会計報告、各事業の写真記事等の広報担当

- ・今期より、青年部員同士をより知っていただけるよう部員紹介記事作成のため、月2名以上を目標にインタビューを実施し、(公社)全国産業資源循環連合会青年部協議会インターネット情報『れん楽網』に載せ、情報の共有を

図った。

② 研修委員会

経営層だけでなく、全部員にとってもスキルアップや魅力ある研修会等を実施した。

- ・ 6月7日 講演会「全国産業廃棄物連合会青年部設立と経緯の意義」
- ・ 11月27日 研修会「お客様が買う理由を考える」
- ・ 1月29日 研修会「青年部長が語る2019・電子契約デモについて」

③ コミュニケーション委員会

各事業後の懇親会・交流会等の設営企画運営

今期より青年部員間のコミュニケーションを取りやすくする仕掛けを積極的に実施した。

- ・ 参加率を高めるためのアンケートを実施
- ・ 9月1日 都内でできる自然体験@多摩：BBQ 懇親会（部員家族・社員交流）

④ その他

- ・ 賀詞交歓会、総会、女性部幹事との意見交換会等の実施
- ・ (公社) 全国産業資源循環連合会青年部協議会及び関東ブロック賀詞交歓会、総会への参加
- ・ 2月21日～22日 姫路・神戸施設見学旅行及び兵庫県協会青年部会との交流会実施

(10) 女性部

平成30年度は役員改選が行われ、新体制のもと「内部コミュニケーション」を主たるテーマとして、4グループ編成で以下の活動を実施した。

<研修グループ>

① 6月21日 合同勉強会

「中国廃プラ輸入規制を受けた環境省の取組について」

講師：環境省環境再生・資源循環局 2名

② 11月15日～17日 全国大会参加・研修旅行

1日目 施設見学会 見学先：会宝産業(株) (石川県/自動車リサイクル業)

2日目 関東地域協議会女性部会「e-Lady 21のつどい」への参加

第17回「産業廃棄物と環境を考える全国大会」への参加

3日目 金沢市内観光

<コミュニケーショングループ>

① 8月29日 内部勉強会

② 12月20日 当協会役員による講演会

③ 2月7日 青年部との合同幹事会

<社会貢献グループ>

- ① ペットボトルキャップの回収事業（売却益にて災害被災校へ絵本等寄贈）
- ② 協会内ベルマーク運動支援
- ③ 10月18日 部員会社の社会貢献活動についての勉強会

<経営者勉強会>

- ① 7月19日 （税）古田土会計の朝礼見学と講演会
第一部 駅前清掃・朝礼 見学
第二部 講演会「経営計画書は魔法の書～経営計画書は社員を変える前に
社長を変える」
講師：（税）古田土会計 役員
- ② 3月7日 廃棄物処理法勉強会
「廃棄物処理法について～措置命令とキンキクリーン事件判決」
講師：女性部リーガルアドバイザー

また、関東地域協議会女性部会の一員として、下記活動にも参加した。

- ① 9月20日 第2回通常総会・勉強会
勉強会 「産業廃棄物処理検定の受験のポイント」
「中国廃プラ輸入規制を受けた環境省の取組について～
最新情報！！」
- ② 2月15日 関東地域協議会女性部会「交流会」
(主催：群馬県協会女性部会)